

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【京田辺市立薪小学校】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【I・V】 |
| 2 実施対象者 | 京田辺市立薪小学校 全校児童 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名(体育) ② 行事名() ③ その他(総合的な学習の時間、特別活動) (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他() |
| 4 目標 (ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックとの出会いの中で、児童の運動に関する関心を高め、日々の努力の積み重ねの大切さを知る。 ・オリンピックやパラリンピックの意義や歴史について知り、2020年に開催される東京大会実施に向けた意欲付けを行う。 ・体力向上を目指した「『できるかな?』プロジェクト」を行うことで、児童自身が設定した目標に対して、努力することができた。 |
| 5 取組内容 | 1 オリパラ推進校プロジェクト組織確立(6月) (1) 研究内容整理 (2) 研究計画作成 2 オリンピアンとの出会い(10月24日) 佐藤 光浩 氏 アテネオリンピック 4×400m リレー 4位 現 京都府立乙訓高等学校教諭 (1) 講演・質疑応答(6年生対象) (2) 実技指導(6年生対象) |



3 オリンピック・パラリンピックの意義・歴史等についての調べ学習

- (1) 5年生「総合的な学習の時間」で調べ学習（1月）
- (2) オリンピック・パラリンピックコーナーに展示（2月）
- (3) 全校朝礼で発表会（2月）

4 「『できるかな?』プロジェクト」の実施

毎月2種目で挑戦

- (1) 体育委員会主催の取組で、毎月の児童朝礼で今月のプロジェクト競技の説明を行う。
- (2) 競技の目標に達成すると体育委員会より、シールがもらえる。

各月の取組種目

- 【4月】 ・ロープバトンスロー・立ち幅跳び
- 【5月】 ・うんてい・キャッチボール
- 【6・7月】 ・水中顔つけ・人間オセロ
- 【9月】 ・薪エアロビクス ・ラジオ体操
- 【10月】 ・ももあげ・朝ランニング
- 【11月・12月】 反復横とび・朝ランニング
- 【1月】 大縄跳び（クラス）・ももあげ
- 【2月・3月】 1年間のまとめ



6 主な成果

1 オリンピアン佐藤光浩氏に講演してもらう中で、アテネ五輪の実際の映像を見ながら、解説していただいた。児童にとって五輪がいかにかに思い入れのあるイベントであるかや、世界で戦う大変さについての理解が深まった。

また、実際に実技指導をいただく中で、速く走るための体重のかけ方や足の運び方などを教えてもらって、大変勉強になった。

2 国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用したことで、児童の興味・関心が高まり、パラリンピックの意義・歴史等について深く調べることができた。

3 「『できるかな?』プロジェクト」は、体育委員会が特製のシールを作り目標達成者に配付したことで、児童の励みになり目標達成者の増加につながった。また、「できるかなプロジェクト」を保護者向け広報誌「体力アップ! 薪っ子」に掲載し家庭でも取り組めるように啓発できた。

| | |
|-------------------------|---|
| 7実践において工夫した点 (事業の特色) | <p>1 オリンピアン講師による講演・実技指導を通してオリンピック・パラリンピックに対する意欲・関心の高まりと内容理解が深まった。</p> <p>2 「『できるかな?』プロジェクト」は、実施から3年が経ち、児童の中にも定着していて、今年度は月ごとの取り組む種目を精選することで、ひとつひとつの種目に対する取組を深めることができた。</p> |
| 8主な課題等 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピアン講師招聘 ・予算の活用の仕方 |
| 9来年度以降の実施予定 | 各教科と関連させ、全校的な取組として継続・発展させる |